科 目 名	医療コミュニケーション学演習 [科目番号:41618122]
学 期	S 2 単 位 数 2 単位
曜日・授業時間帯	水曜 3 - 4 限
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻(SPH)講義室
担 当 教 員	木内貴弘 石川ひろの 岡田昌史
授業の目的	効果的な医療コミュニケーション(ヘルスコミュニケーション)を行うために必要なスキルを、対人コミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションそれぞれ具体的に取り上げ、演習を行うことによって、「医療コミュニケーション学」の講義で学んだ理論や方略に対する理解を深めるとともに、具体的な医療コミュニケーションの場(医療機関、官公庁、教育機関、研究機関、患者支援組織、マスコミ等)でこれらを生かすことができるようにすることを目的とする。
授業の方法	<ul><li>・ 各回、課題にもとづいて演習・発表・討論を行う。</li><li>・ 演習毎にプレゼンテーション、レポート提出、相互評価等を行う。</li></ul>
授業計画及び内容(各回のテーマ)	月日 内容 担当
教科書・参考書等	<ul> <li>・ 田近秀敏: [実践]ビジネス・コーチングープロフェッショナル・コーチの道具箱、PHP 研究所、2003</li> <li>・ 園田由紀(訳): MBTI への招待—C.G.ユングの「タイプ論」の応用と展開、金子書房、2002</li> <li>・ 梅田望夫: ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる、ちくま新書、2006 演習への参加(50%)、演習内でのプレゼンテーション(20%)、作成した資料・レ</li> </ul>
成績評価の方法	ポート (30%) によって評価する。演習への参加が前提となるため、やむを得ず欠席する場合には、事前に事情を届け出ること。 「医療コミュニケーション学」講義の受講が望ましいが、「医療コミュニケーション学」
他の授業との関連	講義の知識は前提としない。